



## 今月のテーマ：臨床検査室の紹介

みなさんは自分の血液検査結果を見たことがありますか？血液検査は「検査室」というところで行われています。検査室は、医師の指示のもと、病気の診断、治療方針の決定や治療経過の観察に必要な検査を行ない、検査結果を医師に報告するという役割を担っています。これにより患者様の病状を推測し、正確に把握できるようになります。



検査室の業務内容は大きく分けて2つあります。

一つは患者様から血液や尿、便、組織などを採取して行なう『検体検査』です。血液検査、一般検査、生化学検査、免疫・血清検査、輸血検査などの検査があります。もう一つは心電図検査、呼吸機能検査、超音波検査など直接患者様の生体情報体を検査する『生理検査』です。

### 一般検査

血液学的検査：血液一般・白血球分類・凝固系・その他  
 一般検査：尿定性・尿沈渣・その他  
 生化学検査：肝・腎機能・脂質・糖質検査  
 免疫・血清検査：感染症・迅速検査・その他  
 輸血検査：血液型・輸血検査



### 生理検査（生理機能検査）

12誘導心電図検査・マスター負荷心電図検査・24時間ホルター心電図検査・肺機能検査・超音波検査



町立病院で様々な検査機器を有効に用い、上記の検査を行なうことが可能です。

患者様が安心して医療を受けられるように検査の品質と精度の確保を維持しつつ迅速な結果報告を目指して業務に取り組んでいます。

検査について気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

文：肝付町立病院 臨床検査技師

**お問い合わせ先 肝付町立病院 ☎ 0994(67)2721**



## 消費生活相談

## クリーニング受け渡し時には必ず状態の確認を！

### 相談事例 1

ジャンパーを7カ月前にクリーニングに出した。すぐに引き取ったが、でき上がりの状態を確認せずにクローゼットにしまい、先月着ようとしたら、ジッパーの布地が引きつって着られる状態ではなかった。クリーニング店に伝えると「6カ月も過ぎてから苦情を言われても、引き取った後の事故によるものかクリーニング時の処理の仕方の問題かどちらか分からない」と言われた。



### ●一言助言●

- ・クリーニングによるトラブルは、複数の要素が重なって発生することもあるため原因の特定が難しく、時間が経つと解決がより難しくなります。クリーニングに出す時、受け取る時には、必ず衣類の状態や処理方法を店舗側と一緒によく確認しましょう。
- ・「クリーニング事故賠償基準」を使用してトラブルの対処をする店舗もありますが、使用していない店舗もあります。利用する店舗のルールを確認しましょう。
- ・「クリーニング事故賠償基準」に基づき賠償される場合は、購入時からの経過月数などが勘案されるので、購入時の金額が戻ってくるわけではありません。
- \* 「クリーニング事故賠償基準」は、Sマーク（「クリーニング業に関する標準営業約款」の登録店）、LDマーク（クリーニング生活衛生同業組合の加盟店）のある店舗が使用しています。



S マーク



LD マーク

■困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください

消費生活相談窓口（鹿屋市消費生活センター）☎ 0994(31)1169 消費者ホットライン☎ 1 8 8  
 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）情報セキュリティ安心相談窓口 ☎ 03(5978)7509

